







新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0001. 牟尼たちはラーマの即位を祝う

0002. ラーヴァナの家系、ヴィシュラヴァスの誕生

0003. ヴァイシュラヴァナの誕生、財宝主となりランカーに住む

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0004. 羅刹と夜叉の起源、スケーシャの誕生

0005. スケーシャの三人の勇猛な息子の話

0006. ヴィシュヌ神は羅刹の迫害から神々を保護する

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0007. 羅刹マーリンは倒され、他の二羅刹は遁走する

0008. 羅刹たちは地底界へ移り住む

0009. ラーヴァナたちの誕生の話

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0010. ラーヴァナ兄弟の苦行と梵天の贈り物

0011. 財宝主はラーヴァナにランカーを譲り渡す

0012. ラーヴァナ兄弟の結婚、インドラジトの誕生

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0013. ヴァイシュラヴァナの忠告

0014. ラーヴァナは兄ヴァイシュラヴァナを襲撃する

0015. ラーヴァナは天車プシュパカを奪う



新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0016. ラーヴァナという名称の由来

0017. ヴェーダヴァティーの呪詛

0018. マルッタ王に挑戦、神々は鳥獣に特権を贈る

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0019. アナラニヤ王に挑戦、王の呪詛を受ける

0020. ナーラダ仙はヤマ神との戦いを示唆する

0021. ヤマ神の軍隊との戦い

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0022. 梵天の要請によりヤマ神は戦場を離れる

0023. ヴァルナ神の王子たちとの戦い

0024. 婦人たちへのラーヴァナの悪行

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0025. ダシャグリーヴァはマドゥと同盟を結ぶ

0026. ナラクーバラの呪詛

0027. ラーヴァナと神群との戦い、スマーリンの死

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0028. インドラ神とラーヴァナの戦い

0029. インドラ神はインドラジトに捕縛される

0030. インドラジトの名称の由来

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0031. アルジュナ王の国のナルマダー川に行く

0032. アルジュナ王に挑戦して捕縛される

0033. プラスティヤ仙の願いによりラーヴァナは釈放される

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0034. ヴァーリンとの戦い、ラーヴァナの敗北

0035. ハヌマトの生い立ち

0036. ハヌマトへの神々の贈り物

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0037. ラーマの称讃

0038. 諸王の帰国

0039. 都城のなごやかな生活



新訳 ラーマヤナ (07) / [07] 後続の巻

0040. スグリーヴァとヴィビーシャナ、帰国の途につく

0041. クベーラ神から天車プシュパカを贈られる

0042. シーターとラーマの幸福な生活、彼女の願い

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0043. シーターに関する悪い噂を耳にする

0044. 兄弟の王子を召集する

0045. シーターの追放を決意してラクシュマナに放置を命じる

新訳 ラーマヤナ (07) / [07] 後続の巻

0046. ラクシュマナはシーターをガンジス川岸の隠棲所へ送る

0047. ラクシュマナは追放の真実を告げる

0048. シーターの別離の言葉

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0049. シーターはヴァールミーキの保護を受ける

0050. スマントラは聖仙ドウルヴァーサスの予言に触れる

0051. 大聖仙ドウルヴァーサスの話

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0052. ヴァールミーキの隠棲所に放置したことを報告

0053. ヌリガ王の話 (一)

0054. ヌリガ王の話 (二)

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0055. ニミ王の話 (一)

0056. ニミ王の話 (二)

0057. アガスティヤ仙、ヴァシシュタ仙の誕生、ヴィデーハ、ジャナカ、ミティラーの名称の由来

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0058. ヤヤーティ王、呪詛を受ける

0059. 王子プールの堪忍、王子は父王の老齡を代行する

0060. 大聖仙たちの来訪

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0061. マドゥはシヴァ神に授かった投げ槍をラヴァナに渡す

0062. ラーマ、シャトルグナにラヴァナ退治を命じる

0063. シャトルグナの灌頂、ラヴァナ退治の方策の指示



新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0064. シャトルグナは大軍に出発を命じる

0065. シャトルグナはヴァールミーキの草庵に宿泊する

0066. シーターの出産と命名

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0067. マーンドートリ王の話、ラヴァナの投げ槍の威力

0068. シャトルグナとラヴァナの対決

0069. シャトルグナの勝利

新訳 ラーマヤナ (07) / [07] 後続の巻

0070. シャトルグナは都シューラセーナを統治する

0071. シャトルグナはラーマを訪ねる

0072. シャトルグナはラーマに拝謁する

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0073. 時ならぬ子供の死を迎えた老バラモンの非難

0074. ナーラダ仙は少年の死因をラーマに言上する

0075. ラーマは四種姓の法の混乱の防止に出発する

新訳 ラーマヤナ (07) / [07] 後続の巻

0076. シュードラ・シャンブーカの苦行を発見

0077. シュヴェータ王に関する話 (一)

0078. シュヴェータ王に関する話 (二)

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0079. ダンダ王に関する話 (一)

0080. ダンダ王に関する話 (二)

0081. ダンダカの森の名称の由来

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0082. アガスティヤ仙に別れを告げる

0083. 世界平和のためには、ラージャスーヤ祭は完全でないこと

0084. 浄化にはアシュヴァメーダ祭が優れていること

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0085. インドラ神はヴリトラを殺してバラモン殺しの罪に襲われる

0086. バラモン殺しの罪をアシュヴァメーダ祭によって清める

0087. イラ王がアシュヴァメーダ祭によって浄化されること



新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0088. 女性（イラー）となったイラー王

0089. プダとイラーの生活、プルラヴァスの誕生

0090. アシュヴァメーダ祭を行なって、もとの男性にかえる

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0091. ラーマはアシュヴァメーダ祭の準備を命じる

0092. アシュヴァメーダ祭の執行

0093. ヴァールミーキはクシャとラヴァにラーマヤナの吟唱を命じる

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0094. 二児のラーマーヤナの吟唱、ラーマーヤナ創作の事情

0095. ラーマはシーターの潔白の証明を求める

0096. シーターの試罪の行事の準備

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0097. シーターの試罪の行事

0098. ラーマの嘆きと梵天の慰めの言葉

0099. ラーマの統治と母後の死

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0100. バラタの二王子にガンダルヴァ国の征服を命じる

0101. 征服地に二都城を建設して二王子を即位させる

0102. ラクシュマナの二王子の即位

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0103. 梵天の使者、破壊の神カーラの来訪

0104. カーラ神はラーマの人間界の寿量の満了を告げる

0105. ドゥルヴァーサス仙の来訪によるラクシュマナの受難

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0106. ラクシュマナの昇天

0107. ラーマの二王子クシャとラヴァの即位

0108. シャトルグナの二王子の即位

新訳 ラーマーヤナ (07) / [07] 後続の巻

0109. 聖なる旅立ち

0110. 天国への道

0111. ラーマーヤナの聴聞と朗読の功德



